

第1回全国散走フォーラム 報告レポート

2023年6月30日（金）

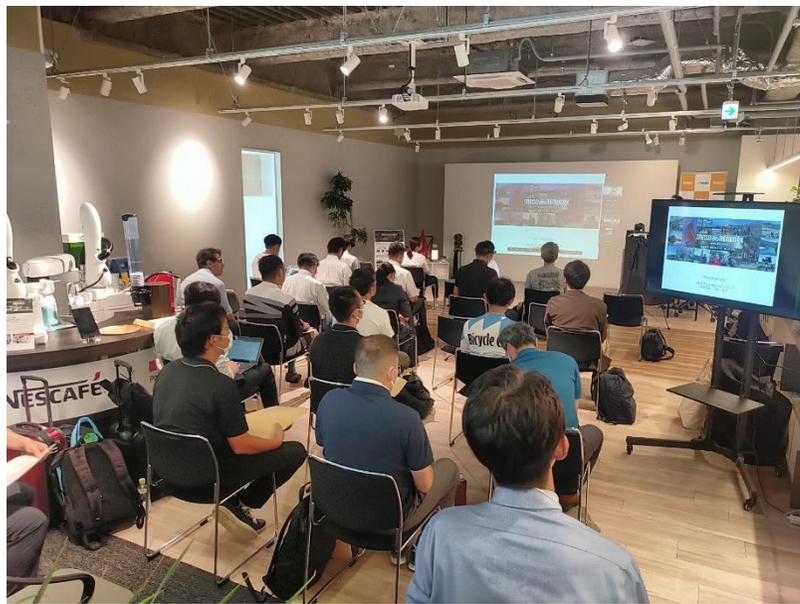
第1回全国散走フォーラムにて、全国各地の散走取組事例をご報告

羽田空港に隣接するHICity ZONE K 4階 きらぼし銀行Kicspace HANEDAにて第1回全国散走フォーラムを開催。リアル会場参加 41名、オンライン参加 31名、合計 72名の参加申込がありました。

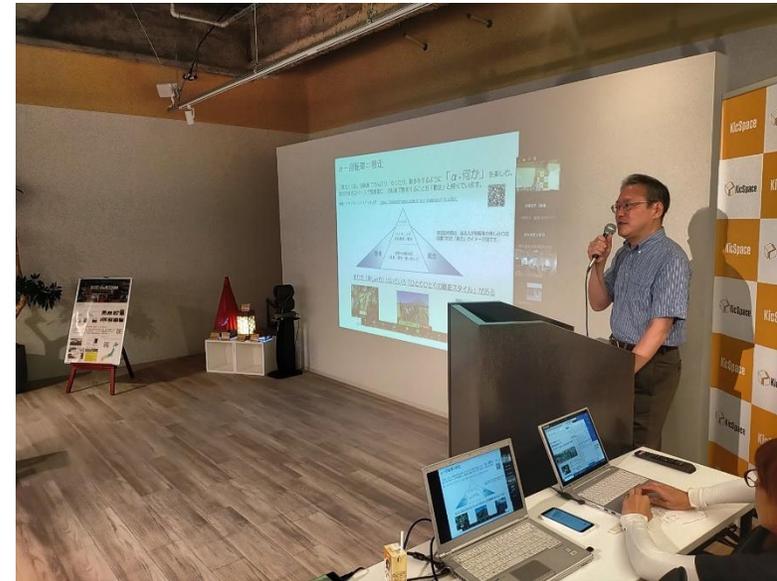
冒頭に、散走ネットワークの大野昌仁代表理事（元自転車活用推進本部事務局次長）からご挨拶、シマノ文化推進課の阿部竜士課長による散走のご説明。続いて全国各地の散走について9つの事例を発表いただきました。

- ・大田区 自転車活用推進計画と散走の取組みについて 大田区都市基盤管理課 課長柘木尚様
https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/ota_plan/kobetsu_plan/sumai_machinami/jitensya_riyou/index.html
- ・北海道 一般社団法人十勝プラス 代表理事 及川雅敦様（オンライン）<https://memurocycle.com/>
- ・福島県 いわき自転車文化発信・交流拠点ノレル？ コーディネーター 寺澤亜彩加様 <https://noreru-iwaki.jp/>
- ・茨城県 りんりんスクエア土浦 株式会社アトレ プレイアトレ土浦 営業部 林航平様
<https://www.ringringroad.com/square/>
- ・静岡県 NPO法人はまなこサイクル 事務局長 田内幸子様（オンライン）<https://www.hamanako-cycle.org/>
- ・滋賀県 びわ湖のカナタ 代表 田中将人様（オンライン）<https://www.facebook.com/biwakonokanata/>
- ・大阪府 SAKAI散走 堺市建設局サイクルシティ推進部自転車企画推進課副主査 東有可様
<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/doro/jitensha/index.html>
- ・岡山県 真庭散走サイクリング 一般社団法人真庭観光局事業部 松下拓也様
<https://www.maniwa.or.jp/feature/tokushu3.html>
- ・宮崎県 サイクランドおくぐち 店長 奥口一人様（オンライン）<https://okuguchi.jp/>

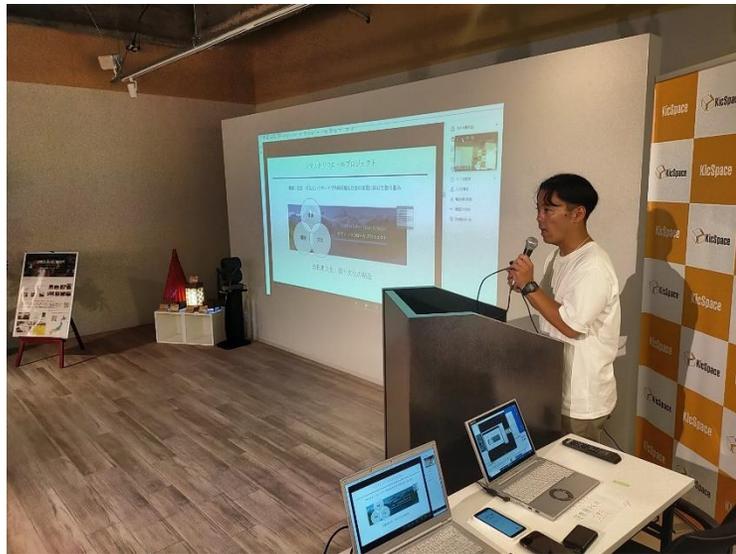
★当日の各プレゼン資料を必要とされる方は、一般社団法人散走ネットワーク 事務局 室谷（ムロタニ）迄ご相談ください。
springpc@sanso.network 090-3990-7269



Kicspace HANEDAにてハイブリッドで開催



ご挨拶と、散走普及の必要性について
一般社団法人散走ネットワーク 大野昌仁代表理事



シマノ自転車文化活動と散走の概念について
株式会社シマノ 企業文化コミュニケーション部 文化推進課 阿部 竜士 課長



大田区自転車活用推進計画と散走の取組みについて
大田区都市基盤管理課 柞木 尚 課長より発表

ご案内 (最終版)

令和5年4月吉日

各位

一般社団法人 散走ネットワーク
代表理事 大野 昌仁
(公 印 省 略)

第1回 全国散走フォーラムのご案内

拝啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
当法人は、身近な暮らしの中で誰でも気軽に自転車を楽しむ「散走」の概念を、全国・世界へ普及することを目指し、各地域で「散走」を育む人材の発掘、育成、根付かせる活動を推進し、持続可能な地域社会に寄与することを目的とし、2022年11月に設立しました。

そして、自転車のある暮らし「散走」を知る・学ぶ・つながる全国各地の散走ネットワークと連携したプラットフォームを構築し、日本のゲートウェイ東京都大田区羽田から全国各地の散走を情報発信してまいりたいと考え、第1回全国散走フォーラムを開催いたします。

平成28年の自転車活用推進法の成立から6年が経過し、これまで自転車レーンなど自転車走行空間の整備、サイクルツーリズムの推進、自転車ヘルメットの着用促進、自転車保険の加入促進など、自転車を巡っては多くの方々のご尽力により様々な取り組みが行われてきました。自転車の活用をさらに促進させるためには、「地域に住む人々が、日常の利用とは異なる目的で、身近な暮らしの中でその地域を気軽に自転車で走る。」ことが重要と考えています。その行動が、自転車活用の裾野を広げるだけでなく、地域の再発見、魅力の向上、地域振興などにつながる可能性を秘めています。私たちは「散走」の概念を多くの人に知っていただき、実際に走っていただくことにより、地域の文化として根付かせることを目指してまいります。皆様にご賛同、ご協力いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

敬具

記

第1回 全国散走フォーラム

主催：一般社団法人散走ネットワーク、協力：株式会社シマノ、協賛：大田区
後援：国土交通省自転車活用推進本部

I. 開催日時：令和5年6月30日（金）14:00～17:00（ZOOM入室 受付13:30～）

II. 開催方法：

① 会場参加（定員30名）：東京都大田区羽田空港1-1-4 KicSpaceHANEDA

② オンライン参加（定員100名）：ZOOMオンライン会議室

※参加者に会議室の入室URLを前日までにお送りいたします

III. 募集対象：全国各地域・拠点で自転車を活用したまちづくりや自転車観光などを実践している、あるいはこれから取り組みされようとしている地域のリーダー

IV. 参加費：無料

※通信料などは自己負担

※ZOOMオンライン会議室ご利用環境：接続はインターネット環境（Wi-Fi、光等の高速通信推奨）、OSはWindows、Mac、Android、iOS、機種はパソコン、タブレット、スマートフォンとなりますが、製造年数が経過しているモデルは動作が不安定な場合があります

V. 参加申し込み方法：下記のエントリーよりお申し込みください。

<https://forms.gle/bjqEY3tpDkuJkWBj9>



VI. 参加募集締め切り：令和5年6月20日（水）17時 ※受付終了いたしました。
※締め切り日前に定員数に達した場合は募集終了となりますので、ご了承ください

VII. プログラム（予定）：

- ・13:30～ 会場受付開始、ZOOM入室受付開始
- ・14:00～ 1) ご挨拶(10分)
一般社団法人散走ネットワーク 代表理事 大野 昌仁
- ・14:10～ 2) シマノ自転車文化活動と散走の概念について(10分)
株式会社シマノ 企業文化コミュニケーション部文化推進課 課長 阿部 竜士 氏
- ・14:20～ 3) 各地域の散走の取組みについて
 - 3)-1 大田区自転車活用推進計画と散走の取組みについて (10分)
大田区都市基盤管理課 課長 柘木 尚 氏
 - 3)-2 その他、全国各地の散走について (各10分) ×8地域

- ・北海道 一般社団法人十勝プラス 代表理事 及川 雅歌 氏
- ・福島県いわき 自転車文化発信・交流拠点ノレル? コーディネーター 寺澤 亜彩加 氏
- ・茨城県 りんりんスクエア土浦 株式会社アトレブレイアトレ土浦 営業部 林 航平 氏
- ・静岡県 NPO法人はまなこサイクル 事務局長 田内 幸子 氏
- ・滋賀県 びわこのカナタ 代表 田中 将人 氏
- ・大阪府 SAKAI 散走 堺市建設局サイクルシティ推進部 自転車企画推進課 副主査 東 有可 氏
- ・岡山県 真庭散走サイクリング 一般社団法人真庭観光局 事業部 松下 拓也 氏
- ・宮崎県 サイクランドおくぐち 店長 奥口 一人 氏

- ・15:50～ 休憩 (10分)
- ・16:00～ 質疑応答・グループディスカッション
- ・16:55～ 事務局からのお知らせ (5分)
- ・17:00 フォーラム終了
- ・17:30～ 懇親会 ※別途参加費（ひとり4,000円）をいただきます。
- ・20:00 終了

★オプション①：6月30日（金） AM10時 - 12時 ※受付終了いたしました（5/17時点）

「羽田空港跡地 サイクリング拠点検討予定地～空港方面まで多摩川沿いを自転車で走れる環境づくりに向けた自転車試走会」 参加費：無料 定員：20名 主催：大田区

★オプション②：7月1日（土） 9時30分 - 15時 ※受付終了いたしました（5/31時点）

大田区商店街にあるもんど散走 参加費：5,000円 定員：8名 ※詳細は別途
※先着順。希望者は下記のメールにてご連絡ください。

VII. お問い合わせ先：

一般社団法人散走ネットワーク 室谷（むろたに）

Tel：090-3990-7269 mail: springpc@sanso.network

6月30日（金） 14:00～17:00

第1回全国散走フォーラム 進行スケジュール

13:30～	会場受付開始、ZOOM入室受付開始
14:00～	ご挨拶(10分) 一般社団法人散走ネットワーク 代表理事 大野 昌仁
14:10～	シマノ自転車文化活動と散走の概念について(10分) 株式会社シマノ 企業文化コミュニケーション部 文化推進課 課長 阿部 竜士 氏
	各地域の散走の取組みについて(各10分)
14:20～	大田区自転車活用推進計画と散走の取組みについて 大田区都市基盤管理課 課長 柞木 尚 氏
14:30～	・北海道 一般社団法人十勝プラス 代表理事 及川 雅敦 氏
14:40～	・福島県いわき 自転車文化発信・交流拠点ノレル? コーディネーター 寺澤 亜彩加 氏
14:50～	・茨城県 りんりんスクエア土浦 株式会社アトレ プレイアトレ土浦 営業部 林 航平 氏
15:00～	・静岡県 NPO法人はまなこサイクル 事務局長 田内 幸子 氏
15:10～	・滋賀県 びわこのカナタ 代表 田中 将人 氏
15:20～	・大阪府 SAKAI散走 堺市建設局サイクルシティ推進部 自転車企画推進課 副主査 東 有可 氏
15:30～	・岡山県 真庭散走サイクリング 一般社団法人真庭観光局 事業部 松下 拓也 氏
15:40～	・宮崎県 サイランドおくぐち 店長 奥口 一人 氏
15:50～	休憩（10分）
16:00～	質疑応答・グループディスカッション
16:55～	事務局からのお知らせ（5分）
17:00	フォーラム終了

<グループディスカッション>

3～4名グループに分かれて
「今日の気づき」をシェア
(リアル会場と、オンライン両方)



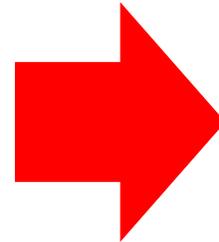
<散走による成果と共通課題>

【成果】

- ① 地域ならではの出会いや、価値を再発見できる。
 - ② 地域連携が促進されることで地域の経済効果や、交流人口・関係人口が創出される。
 - ③ ルールマナー啓発につながることで地域貢献できる。
 - ④ 郷土愛が芽生える。運営する人の、やりがい・生きがいにつながる。
 - ⑤ 一般的な自転車に乗ることを目的としたサイクリングより敷居が低いため、誰でも気軽に地域の魅力を知りきっかけづくりや、健康づくりに貢献できる。
- ※自転車を目的としたサイクリングイベントは男性が多いが、+αに魅力を感じる「散走」は一般の女性の参加が増える

【課題】

- ① 持続的な運営・資金
- ② 集客のためのPR不足
- ③ 個人に負担が集中すること（イベント疲れ）
- ④ 悪天候催行中止の対策
- ⑤ 担い手不足・人材育成（ある程度のスキルが必要）



【今後に向けて】

- ① 自転車だけを目的としない、+αの地域住民との関係づくり
- ② 地域ならではの商品開発や、別事業で運営を支える土台づくり
- ③ 各地域で学び合う機会をつくること

一般社団法人散走ネットワークでは、以下の3つを推進していきたいと考えています。

① 持続的に運営できる仕組みづくりを、全国の皆さんと一緒に考えます。

② 担い手不足解消のきっかけづくりとしてもシマノさんと一緒に「ソーシャル×散走企画コンテスト」で、学生さんと地域づくりを育む機会をつくりまします。
<https://www.shimano.com/jp/csr/culture/sansou.html>

③ 各地域の課題解決に向けて、全国の皆さんと学び合う場をつくりまします。

最後に 事務局からのお知らせ

大田区「散走伝道師」養成研修会 2023年9月9日（土）10日（日）予定

全国で活躍するガイド・サイクリングの実践者を講師として招く（実地研修あり）
2日間の研修プログラム

■小口 良平（おぐち りょうへい）氏

自転車冒険家&自転車旅行研究家（自転車まちづくりサイクルアドバイザー）

長野県岡谷市出身。約8年半（2007~2016年）、157ヶ国、15.5万kmの自転車旅に出る。

日本人歴代1位樹立。帰国後は講演会、メディアに精力的に出演。マップ作成、観光商品開発、

自転車環境整備、ガイド養成講習会、冒険教育キャンプ主催。サイクルステーション「grav bicycle station」& シェア

ハウス/ゲストハウス「KOTEN」」運営。現在も自転車冒険旅は

年に1度継続中、現在は160ヶ国目。次の大夢は2030年に南極自転車冒険、月への自転車旅。

- ・合同会社トビチカンパニー「grav bicycle」共同代表 /一般社団法人〇と編集社 理事
 - ・諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会 代表
 - ・長野県サイクルツーリズム推進協議会「Japan Alps Cycling」 副代表
- 著書：「スマイル！（河出書房新社）」「果てまで走れ！（河出文庫）」

※ 散走伝道師とは

自転車の楽しみ方のひとつである『散走』を通じて、自分が暮らすまちの魅力発信、及び自転車の安全利用の普及を行う**地元愛溢れる人**



【散走伝道師】養成研修会

※研修内容は変更になる可能性があります。

様々な地域で「自転車まちづくり」を牽引し、実践している講師陣による散走伝道師研修。

世界を自転車旅したからわかる伝道師に必要なスキルとマインドについて学び合う研修会です。

最後まで参加した方には、一般社団法人散走ネットワークが発行する「伝道師修了証」をお渡しします。

	time	min	内容
1日目	9:30		受付
	10:00	15	挨拶・進行スケジュール「散走について」室谷より
		30	参加者 自己紹介・ひと言チェックイン（ひとり3分程度）
	10:45	90	◆「国内とインバウンド対応のガイドスキルと、リスクアセスメント」
			講師：小口良平氏
	12:15	60	休憩・昼食
	13:15	180	★散走体験研修
			集団走行、交通法規、ハンドサイン、フリーフィング方法、ガイド必携道具知識
	16:15	15	休憩
	16:30	60	◆1日目の振り返り（質疑応答、講師陣からのアドバイス）
	17:30		1日目終了・講師陣と参加者有志による懇親会
2日目	9:30	120	◆「メカニカルスキル基礎」 メンテナンス方法、日常・ツアー前点検
			◆「ファーストエイド基礎」 緊急時の行動対応知識・参加者の体調管理・エイド道具知識
	11:30	60	休憩・昼食
	12:30	180	★参加者による散走ガイド実践研修
	15:30	15	休憩
	15:45	80	振り返りWS
			・KPT（20×3=60）+全体共有10分
	17:00		修了式「散走伝道師」修了証の授与 参加者ひと言チェックアウト
	17:30		閉会

＜全国散走フォーラムのオプションとして実施＞7月1日（土）大田区商店街にあるもんde散走

参加申込は7名+スタッフ3名の予定でしたが、雨天のため「散走」は中止となり、真庭市2名とスタッフ3名で公共交通と徒歩で商店街にあるもんや、大森海苔のふるさと館へ見学に行って参りました！

2023年7月1日（土）

SANSO NETWORK

**大田区商店街
あるもんde散走**

大田区の商店街を散走しながら、
大田区の美味しいものを調達、
みんなで共同クッキング♪

商店街で楽しいお買い物

大森の歴史と文化に触れる

みんなであるもんdeクッキング

スケジュール

- 9:30 空港予定地集合
- 10:00 散走出発
大田区商店街を巡りながら
お買い物
- 12:15 あるもんdeクッキング
- 13:15 食べながら交流
- 14:00 空港予定地へ移動
- 14:30 到着・振り返り
- 15:00 空港予定地解散

参加費

5000円（税込）
含まれるもの

- ・レンタサイクル
- ・貸ヘルメット
- ・ランチ代
- ・保険

集合場所

大森町駅前「海苔のふるさと館」前
（羽田駅「羽田オアシス」前が自転車の駐輪場は
ありませんので、自動車の御来場はご遠慮
ください。バス・電車・自転車等（無料駐輪
スペースあり）をご利用ください。



羽田神社を参拝



創業130年 佃煮 大谷政吉商店に立寄り
会長から羽田の歴史をお聞かせいただきました



大森海苔のふるさと館にて、海苔の歴史を学ぶ



大森町駅前「昼飯屋」にて海苔カレーを堪能
<https://hirumeshiya1.com/>

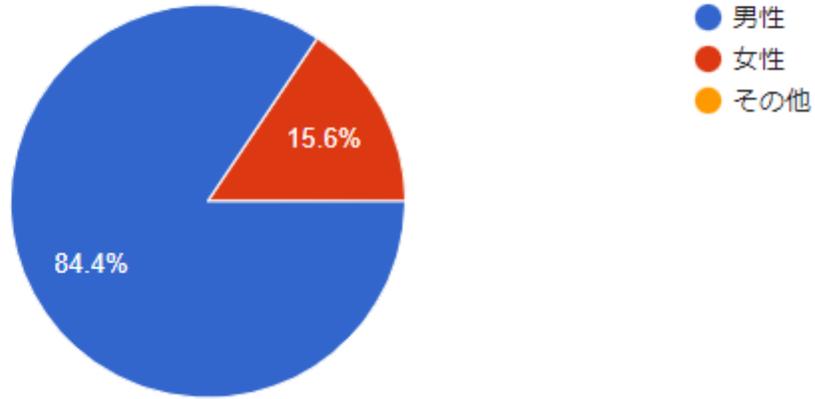
アンケート フォーム



<https://forms.gle/UbBoJ5pZHjS3HEmp8>

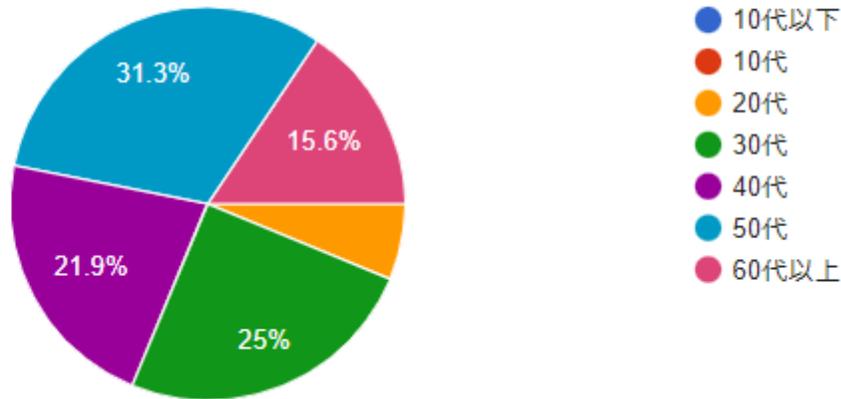
性別

32 件の回答



年代

32 件の回答

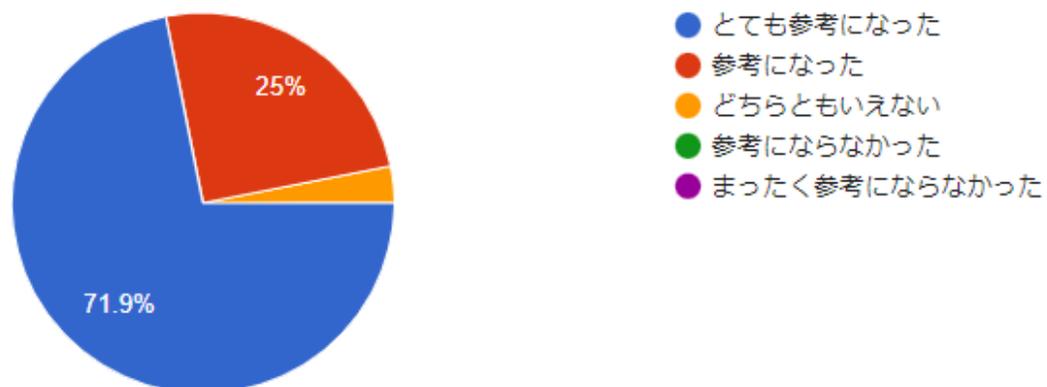


活動している地域（市区町村をご記入ください）

- ・ 東京
- ・ 東京都港区2名
- ・ 大田区 8 名
- ・ 江東区
- ・ 杉並区
- ・ 主に東京都中央区 お声掛けいただければ全国
- ・ 全国各地2名
- ・ 土浦市
- ・ 新潟県糸魚川市、上越市
- ・ 長野県
- ・ 真庭市2名
- ・ 静岡県湖西市
- ・ 静岡県富士市
- ・ 川崎市
- ・ 大阪府高槻市
- ・ 宮崎市、日南市、児湯郡、西都市、
- ・ 堺市
- ・ 滋賀県
- ・ 長門市
- ・ 那覇市
- ・ 北海道2名

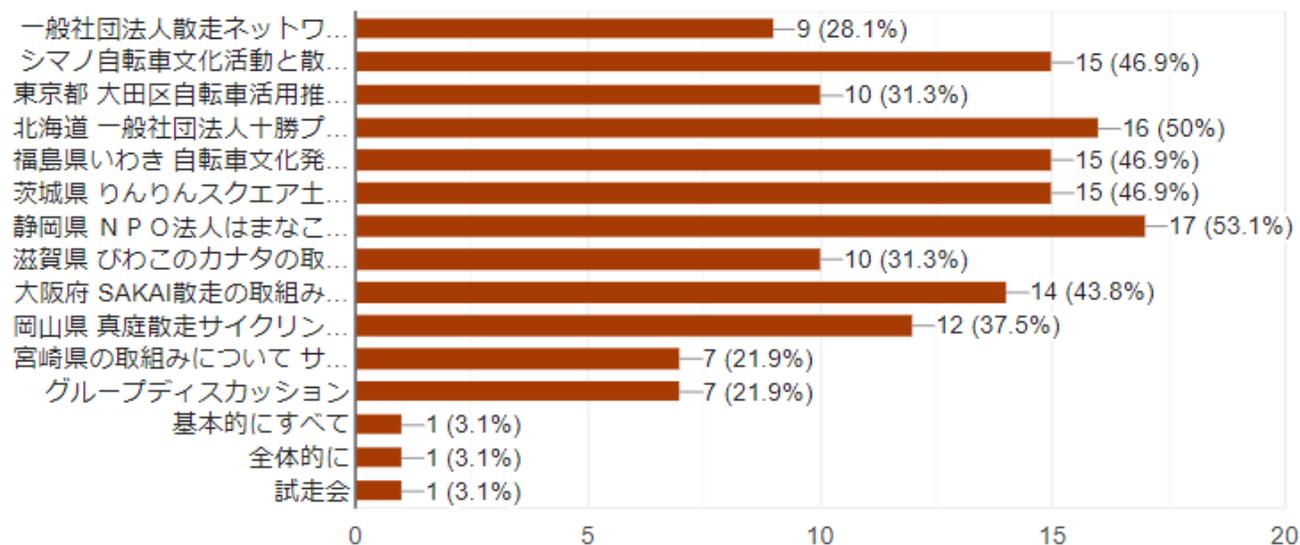
Q1.全国散走フォーラムの内容はいかがでしたか。（1つ選択）

32件の回答



Q2. 全国散走フォーラムで印象的だった内容をお教えてください。（複数回答可）

32件の回答



Q2-2. 全国散走フォーラムで印象的だった内容の理由について（任意）

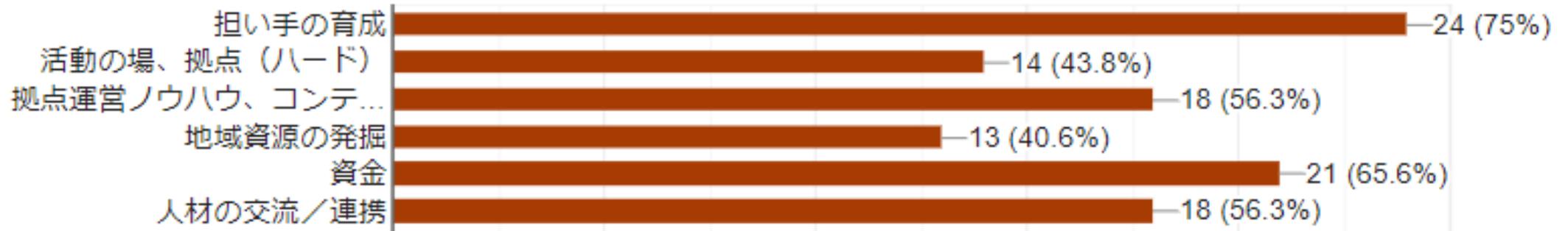
- ・やはりどこでも課題が似通っているなど感じました。
- ・どの地域もそれぞれの魅力を追求しつつ、地域内でのネットワークを形成しているのがわかったところ。
- ・各地の特色に合わせた散走プランを知れた事
- ・女性限定や、女性の参加者が多いという発表があったことが印象的。女性の参加するイベントには、男性も参加しやすく、人数増を期待できます。
- ・「散走＝まちづくり」について理解しました
- ・散走活動に力を入れている地域の最新の取り組み・工夫が参考になった。
- ・全国にたくさん仲間がいることがわかりました。
- ・ビジネスとして軌道に乗せる為に活動している
- ・途中退室したので、聴けた部分のみなのですが、北海道、福島、静岡、滋賀の皆さんは、それぞれのやり方で自分たちの散走を作り出していて、とても素敵だと思いました。思いが伝わりました。シマノさん、アトレさんは会社としてここまでの取り組みが素晴らしい。大田区さんは、行政としてここまで取り組んで素晴らしいと思いました。
- ・各地で色々と取り組まれていること
- ・真庭市松下さまのプレゼンの最後から3枚目。料金、雨天時のキャンセル、人材育成等々。課題が集約されていると感じました。
- ・全国の様々な事例に触れることができるとともに、活発な意見交換もあり、裾野が広がる取り組みと再認識できたため。
- ・走ってみたいと思う取組み
- ・まずは興味をもってもらうための「魅力的なコンテンツ」であることの大切さを改めて感じる事ができたフォーラムでした。個人的には及川さんが実践されている「おかあ散走」や「コーン活（婚活）」が印象的でした。
- ・今まで、体験した事の無い内容だった
- ・現在、サイクルライン沿いに自転車拠点を整備する取組を行っていますが、すでに自転車拠点を整備済の地域の取り組みが先行事例として参考になりました。
- ・各地域で抱える課題感などが似ていて参考になった
- ・自分の地域に活かそう
- ・新しい、事例を知ることができた！
- ・熱量の高い方が全国に多くいらっしゃることを知れ、交流できたことは有意義でした。
- ・初めて全国の散走事例発表をお聞きいたしました。どの地域も同じ課題に悩んでいることに驚きました。どの地域の散走サイクリングも面白い企画が多く、次回は散走サイクリングへ参加してみたいと思います。
- ・散走の概念、ものづくりイベントとの連携、りんりんスクエアの施設など
- ・散走の言葉の由来を知ることによって理解が深まった。各地の方の考えを知ることによって理解が深まった。
- ・全てが素晴らしい取組でした。

Q3. ご自身の地域で実践に活かせるような課題解決のヒントや、自転車活用を促進するアイデア、気づきなどお聞かせください。（任意）

- ・まずは起こさないと。
- ・地域のメインとなる協力者を探すこと
- ・大田区でサイクリングの拠点が出来た時に東京の他の商業施設と差別化する為には、多様な散走のプランがある事が強みになるように思った
- ・自転車に乗ることが目的ではなく、観光スポットや食べ物屋をめぐる手段としての自転車の活用が散走の原点。静岡県の掛川市でガイドサイクリングのガイドをしていますが、気楽に参加できる散走が富士市でも展開できればと考えています。また、散走をいかに一般の方に周知させ、参加に導くために何をすれば良いか、どうPRしたら良いか検討課題と思っています。
- ・散走&大田市場探検ツアー（今までは単独で子供向けを実施中です）
- ・地域資源の巻き込み方が参考になりました。
- ・他地域との広い交流会。
- ・自転車店は本気になる
- ・自分たちの出来る方法で、着実に一步一步できるといいなと改めて気づかされました。
- ・"散走を主催する場合、そのコースについては「自転車は車両」としての行動を徹底できるものであることを事前チェックするようにはしていただくとありがたいと思います。日頃「自転車は車両」であることを前提とした道路整備の旗を振っている手前、道路右側の自歩道を集団で走り続けるのにちょっと抵抗感があります。法的には「自転車通行可」であれば、徐行で通行できることになっていますが、スピードメーターを確認しながら走ってみれば、軽く10km/h以上はでており、徐行とは言い難い状況です。もし、参加者が歩行者とトラブルになると、ちょっと厄介です。道路事情から、参加者の安全を考えると、車道を通行するのに抵抗がある区間もあるとは思いますが、最低限、道路の左側を辿るコースを心がけることにより、歩道と車道の状況次第では車道に誘導する等、「自転車は車両」との思考を広めて頂ければと思います。
【特に】タンDEMやチャイルドトレーラーの参加者がいる場合は、歩道通行は違法となります。意識していただきますよう、お願いします。"
- ・今町田で取り組んでいる案件に、散走を組み込もうと思ひ初めています。
- ・工場を取り入れた散走の話（ファン層が多く予約もすぐに埋まる話含め）は大変興味深かった。
- ・補助金に頼らない取組み、地域の特色を活かした取組み
- ・やはり、地域の人たちと連携する事だと、再認識できた
- ・"地元のコンテンツや歴史文化の深堀が重要だということが他の方の発表からもうかがえた。また、散走は女性や40~50代の方向けにささる自転車の楽しみ方だということが他の人の事例からも感じ取れた"
- ・事業者以外の地域の皆さんに関わってもらうしかけ作り、その移動手段を自転車とし、普段自転車に乗らない人に楽しさを知ってもらう
- ・このような場を、継続していくことが大事だと思います。
- ・"地方においては従来の自転車好きを集める手法だけではなく、自転車以外の魅力で来ていただいた方に対し、どうやって自転車の魅力に触れていただく機会を作るか？ということが大切なんだと気が付きました。そのため下記①都会に住む方に対して自転車がレクリエーションであることをもっと知っていただく機会を作る②都会のライト層に対して地方の紹介をしていただくというプロセスが必要なんだと感じました。"
- ・意見交換会の中で、自転車ツアー=しんどい、疲れるというイメージが一般の方に浸透しており、散走のイメージ（散歩より広範囲へゆったりと）というイメージがあまり浸透していない？という意見がありました。しかし、一度散走へ参加された方は、必ず内容、距離、走行スピード、スタッフ・ガイドのおもてなし等に満足される為、今後は散走をされている地域で別の地域のPRもかねてできればと思いました。例えば、すべての地域共通で全国散走マップのようなものを参加者へ配布するなど。〇〇散走〇〇県詳しいはWEBのQRの掲載のみでも双方のPR、散走の知名度アップにもつながると思います。
- ・夜間散走、見守り散走
- ・ソラムナードから対岸、川崎の工場夜景を見る取組ができそうだと、グループディスカッションの中で意見交換出来た。
- ・映画の聖地巡礼等は、大田区でも散走に組み込めると思った。
- ・空港を活かした自転車関連整備を望まれていた。

Q.4 皆さんの地域で自転車活用推進を継続的にしていくために、必要と思われることは何ですか？（複数回答可）

32件の回答



その他、

- ・自転車のルール、マナーの向上
- ・代替品との共存
- ・官・民・サイクリスト 3者の協力
- ・行政や企業との連携や支援制度
- ・道路管理者との連携
- ・受入れ施設のおもてなし
- ・自動車ドライバーの立場としての地域住民の、道路を通行する自転車への理解と協力。
自転車利用が増えることで得られるメリットの体感・共感・享受
- ・鉄道、バスとの連携に因る駅前の渋滞緩和

Q5.羽田空港への導線、空港公園（予定地）との親和性や、将来の自転車拠点としての必要な機能、どのような施設・設備があれば、羽田空港公園に自転車で訪れたいですか？是非、ご意見をお聞かせください。

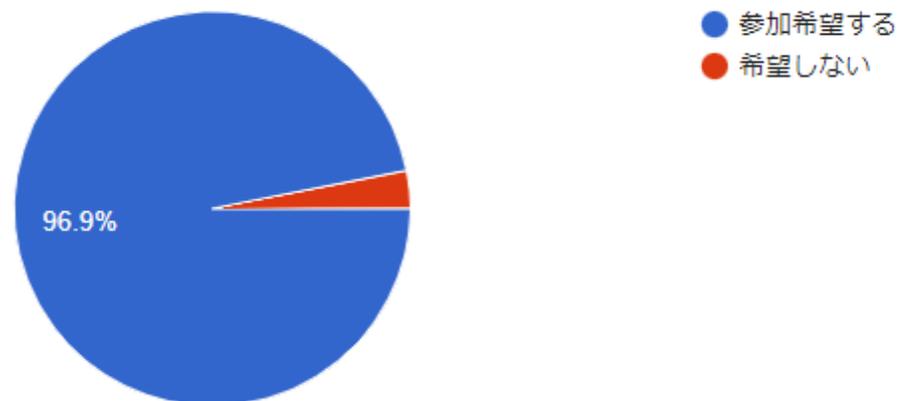
- ・何か楽しみになる施設、キャンプ場とかBBQ施設、クルージング、屋形船、スーパー銭湯的などか、日帰りだと飲めないのが残念。海系のアクティビティはあのあたりだと難しいでしょうか。
- ・日陰を作ってくれる木
- ・家族で遊べる自転車施設
- ・自転車で訪れて安心して止められる景色の良いカフェや食事処。
- ・今後3年間で自転車を船に載せた実証実験を行う予定です
- ・自転車を楽しめるイベントや施策が継続的に発信されていると繰り返し訪問したくなる場所になると思います。
- ・羽田空港からレンタサイクルで、公園まで行ける動線。また、その場所でのサイクリングツアーや、キッズスクール等のコンテンツ。
- ・Eバイクレンタル、メカニックスペース
- ・ロードバイク等を安全に預けられるサイクルロッカー、サンダルの販売、自転車の整備拠点
- ・空港公園なんて素敵だし、飛行機をみながらサイクリングできるのは付加価値だと思います。特に、羽田空港は日本を代表する空港の一つなので、ここでサイクリングできるのは嬉しいです。羽田空港に荷物を預けて、空港で自転車を借りられて、そこからすぐ自転車にのれて空港公園に行けるといいなと思います。距離数や所要時間の目安などが表示されていると自分のスケジュールと照らし合わせて利用しやすいと思います。
- ・休憩スポット（ベンチほか）日影が必要。→離発着を見る場合に邪魔にならないこと。→飛行機写真撮影者と飛行機を眺めるだけの公園利用者との区画をさりげなく分離させてほしい。
- ・○羽田空港公園へは、あまり自力で来ることは想定せず、天空橋までモノレールか京急で行くとして、行った先に適切な台数のシェアサイクルがある状況があるとよいと思います。
 - 多摩川沿いに自転車を通すのであれば、それは「園路・遊歩道」ではなく「自転車歩行者専用道路」なんだとの整理を行い、府中市の多摩川の例に倣い、原則は「人は右、車（自転車）は左」の交通ルールであることを周知して、追越し・すれ違いを規則的に行えるようにすることをお勧めします。
 - 多摩川沿いのルートの先端は、見学客が集中する可能性があるため、混乱を避け、原則、自転車立ち入り禁止でよいと思います。その代わり、自転車立ち入り禁止とするゾーンの手前に駐輪区画を設け、「来るな止めるな」ではなく「ここに停めてください」と看板を立てるようにすべきと思います。
 - 河川管理上、先端の駐輪区画にラックを置くのが難しければ、河川への転落防止で設けられている柵の形状を工夫し、平時は駐輪スタンドにも使えるようにする等の工夫が考えられると思います。○うれしい悲鳴として、人気が出過ぎて、公園内の自転車利用に混乱が生じるようであれば、人気の高い時間帯は個人車持ち込み禁止（道路法・道路交通法での措置は難しいので、公園管理上の措置で実施）とし、シェアサイクルで適切な入場台数を管理する方法も考えられるのではないかと思います。
- ・そこで自転車に乗れる場所
- ・自転車好きがターゲットであれば自転車本体や関連商品、書籍等が集まっていて美味しい食べ物があれば訪れたいです。
- ・多摩サイの始点という立地を活かした導線づくり、カフェや食事スポット、自転車で空港へ行きたい羽田空港利用者向けのサービス（シャワー・更衣室・自転車預けサービス・羽田空港への連絡バスの接続）
- ・多摩川サイクリング道路との一体化、そこから街中への誘導
- ・羽田空港ターミナルまで自転車で行けるよう整備する

Q5.羽田空港への導線、空港公園（予定地）との親和性や、将来の自転車拠点としての必要な機能、どのような施設・設備があれば、羽田空港公園に自転車で訪れたいですか？是非、ご意見をお聞かせください。

- ・羽田空港ターミナルまで自転車で行けるよう整備する
- ・周辺の状態を把握できている訳ではありませんが、輪行解除できる場所の設定やサイクルラック（駐輪場）などの整備がなされているだけでも、サイクリストにとって「ウエルカム」であるという印象を受けます。あとは核となる魅力的なコンテンツ（ソラムナード走行の取組やそこでのフォトスポットの整備）や立ち寄り先（カフェ、お土産ショップ）の紹介できるサイクリング拠点の整備などあればいいと思いますが、単に整備するだけで終わらず、きちんと機能するものとして運営ができる体制作りも重要だと思います。
- ・土浦の小型版があると良い。自転車店、コンビニ、特産品など
- ・羽田空港で乗り換える（乗り換え時に数時間空港で待つ）方対象に今回のような散走があると参加する方が多いのかなと感じました。
- ・パンクしない道路
- ・"飛行機が見えるカフェなどがあるとサイクリストだけでなく一般の方も利用できて良いと思います。散走を実施する際には、空港付近や飛行機が見えるベストポジションなどを絡めたコースが作れると面白いと感じました。"
- ・事例発表が聞けておらず、現在どのように推進されているのか分からないのですが、「ここならではの特別感」なのかなと思います、ターゲットにあわせささるものも変わるのだと思います。ハードの整備、数ある施設との差別化は難しく通常のシャワー室、ロッカーなどはもちろん、空港と絡めた要素が大きいと感じます、通常の整備にないラウンジ的なものとか。（飛行機を眺めながら休めるみたいな。）ソフト部分も大切だと思います。
- ・観光客視点では、言ってみたくなるようなポイントを知りたい。
- ・"①まずは既存の自転車ユーザーに利用していただくことで知名度を高める・自転車のスタイルのまま利用できるカフェ②知名度ができたところで、国内、インバウンド向けにもまずは自転車の楽しみを知っていただくタッチポイントとしての機能を充実させる。・日本全国のサイクルポイント、レンタサイクルの予約などを紹介できるコンシェルジュ的な案内所"
- ・全体的：都会の道＝交通量、人が多く走りにくいのでは？というイメージをもっていたが、とても整備されており、走り安かった。
ソラムナード：歩行者専用ではもったいない。先には飛行機の絶好のフォトスポットがあり、観光名所等で検討するなら自転車での移動も可能にした方がよいと感じた。例えば、私が羽田空港等でソラムナードの先へ行けば飛行機がまじかで見える、写真が撮れると情報をゲットしても徒歩ではさすがに行くことをあきらめる。
羽田空港周辺で電動アシストが借りれ自転車で約〇分、電動アシストなので楽に行けます等案内があれば、せっかくなので行ってみようという気持ちになる。
（第三ターミナルの徒歩移動は安全面の理由で仕方ないと思っております）
機能面：サイクリングマップ、スタンド、トイレ情報、おすすめのお立ち寄り先、給水所等その他：個人的な一番の驚きは、しっかり道が整備されていたことです。
ブルーライン等がしっかりと整備されてたことです。"
- ・自転車拠点として：シャワーブース・更衣室、輪行の作業スペース、セキュリティの高い駐輪スペース、併設されたカフェ、可能なら自転車メーカーとのコラボ公園や堤防の先に：羽田に来た証となる、また気分を盛り上げるモニュメントなど（映え写真がとれるスポット）
- ・羽田空港第一ターミナルおよび第二ターミナルへ自転車で行ける導線整備
- ・情報発信機能
- ・箱だけでなく、イベントも定期的にできれば、賑わいが出て人が集まると思う。
- ・シャワー、着替えることができる施設があれば訪れたいと思う人が増えると思う。
- ・全国にある自転車拠点にない施設

Q6. 次回以降の全国散走フォーラムへの参加を希望されますか。

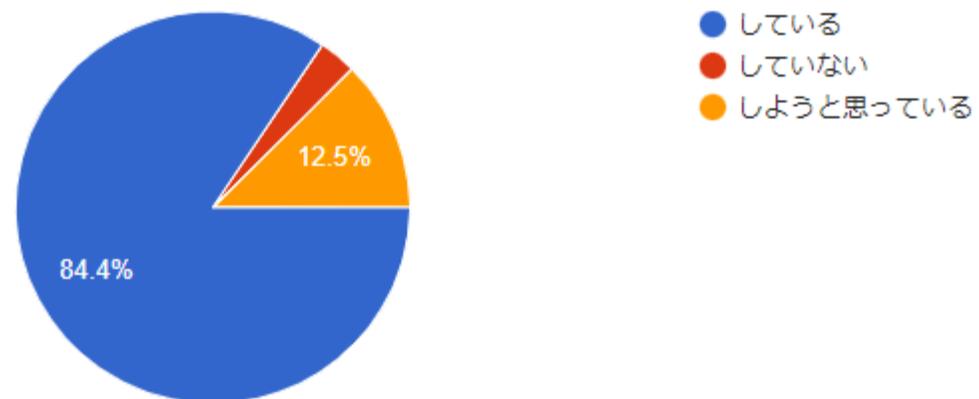
32件の回答



最後の質問です。

Q8. あなた自身、自転車を活用されていますか？

32件の回答



Q7. その他、全国散走フォーラムについてご意見・ご感想などありましたら、ご自由にご記入下さい。（任意）

- ・貴重な機会を頂戴してありがとうございました。
- ・グループディスカッションの時間をもっと長くして、皆様のご意見を聞きたい
- ・様々な地域の活動を聞いて、自分の街に当てはめることができる施策、方法など情報を入手したい。
- ・西鉄バスが自転車を積載可能な事を知り、うらやましく思いました
- ・たくさんの方との交流の場に感謝します。全国の仲間から勇気と力をもらいました。
- ・今度はリアルで参加したいです。
- ・現地参加で、午前中のサイクリングも参加できるように機会を作りたいと思いました。
- ・もっと散走の理解・認知が広がることを期待します。
- ・1回の時間が短い、1回1ゲストのセミナーを年複数回開催し、ビデオコンテンツとして残す。フォーラムは、年1回、そのダイジェストを全国散走ネットワークの室谷様、大野様がプレゼンした後、パネルトークとするような開催方法は如何か？また、自転車利用環境向上会議と提携し、向上会議の1セッションが散走フォーラムになっている形式もよいのではないかと思うが、いかがか？
- ・ガンバ！
- ・貴重な経験をさせていただきありがとうございました。まだまだ自転車事業について勉強不足だと痛感いたしました。今後も、ご指導よろしくお願いいたします。
- ・今後も全国散走フォーラムを楽しみにしています。
- ・散走ネットワークを通して全国からでの散走の認知度を上げていくことが、各自治体の理解を深めることや事業者の事業継続にもつながると思いますので、今後もできる協力をさせて頂きたいです。
- ・企画・準備とありがとうございました。午前中の走行会とあわせてとても楽しく参加することができました。他地域の事例や課題などが聞けて非常に参考になりましたし、実際に現地で参加してみないとその魅力はわからないと思うので、機会を作って全国各地の散走プログラムに参加してみたいと思います。
- ・事務局の室谷さん、ワンオペ、本当にご苦労様でした。
- ・この度は貴重な場をいただき、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
- ・実施している団体・個人同士が散走に取り組むうえでの課題感などを共有し、ディスカッションできる内容があってもいいと感じました。
- ・オンラインでの接続がもう少しスムーズだと良い。発表される方が大体同じなので、新たな方の新たな取組を聞いてみたい。
- ・ウェブで拝聴しましたが、3時間以上は、少し長いと思います。
- ・イベントお疲れ様でした。今回お誘いいただきありがとうございます。引き続きよろしくお願い致します。
- ・この度は、試走会、フォーラム、大田区あるもんde散走の計画、準備等大変お世話になりました。私自身初めて他地域を試走でき、他地域の事例をお聞きし、他地域の散走サイクリングのお立ち寄り先を訪問でき非常に勉強になりました。ご丁寧にご対応をいただき誠にありがとうございました。今回、課題が似ている地域も多くあり、課題解決に向けた意見交換会や他地域の散走に参加して外部（市外）の方がその地域の散走コースを考えてみる等もしてみたいと思いました。どの地域も非常に魅力あるプログラムがあり、次回は是非視察をさせて頂きたいと思います。また、真庭の課題でもある情報発信の仕方なども皆様と意見交換会や情報交換会をしたいです。次回の開催を心よりお待ちしております。
- ・大きな可能性を感じさせていただく機会となりました。大田区また羽田が、今後、自転車を活用したまちづくりで、新たな可能性が発揮できるよう自身の立場でも努力をしてまいりたいと思います。
- ・先進的な取組、お疲れ様です。今回を契機にさらに裾野が広がることを願っています。
- ・全国の取組を知ることができて、とてもためになりました。